

# 景 観 通 信



スポーツガーデン進入路  
モミジバフウの紅葉

景観づくりに関する情報発信をすることで、市民の皆さんと情報の共有を図り、一緒に鈴鹿の美しい景観を守り、育てることを目的に発行しています。

今回から数回にわたり、景観を形作っているものを個別に見ていこうと思います。

まずは、街路樹です。

## 街路樹とは

道路に沿って植えられた樹木を街路樹といい、奈良時代が始まりと言われていました。

その後、江戸時代には江戸と各地を結ぶ街道整備が進み、その一環として街道筋に並木としてスギやマツが植えられました。

さらに明治時代になると、市街地にも植えられるようになりました。

鈴鹿市内には、現在、市道だけでも54.75kmの街路樹路線があります。

一般的に樹木には、常緑樹と落葉樹がありますが、冬場の日当たりや季節感を考慮して、落葉樹が多く植えられています。高木の街路樹としては、ケヤキ、イチョウ、プラタナスなどが、低木の街路樹としては、サツキツツジやヒラドツツジなどが利用されています。

鈴鹿市の木と花は、皆さんもよくご存知のとおり「ケヤキ」と「サツキ」ですね。

## 街路樹のはたらき

景観という観点から見ると、まちを美しくするだけでなく、美しい花やあざやかな紅葉が季節の移り変わりを知らせてくれます。

また、樹種を揃えることにより特色のあるまちづくり、まちの目じるしとなります。

いきいきとしたみどりは野鳥や昆虫を呼び、都市の自然がここに落ち着きと安らぎを与えてくれます。

そのほかに、夏の日差しをさえぎったり、排気ガスや騒音をやわらげたり、災害のときには火災などから道路や家を守ったりします。



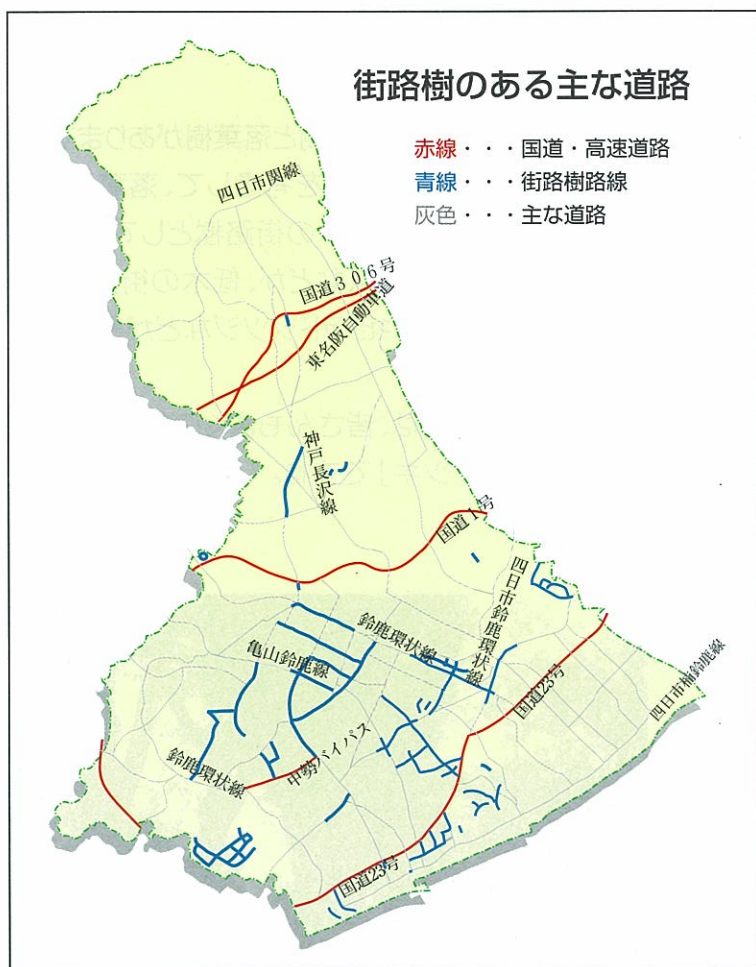
中央道路  
緑のケヤキ並木

ただ、良いことばかりではなく、街路樹の維持管理には多くの経費が必要となりますし、落ち葉の始末、昆虫や鳥の害も問題になります。

美しい景観を守り、育てるためには、課題も多いことは確かです。

このような問題をどのように解決していくか、あるいはどのように付き合っていくかということも含めて、これから皆さんと考えていきたいと思えます。

太陽の街  
地区計画による街路樹



違反広告物 簡易除却実績		
16 年度	はり紙	13,449件
	はり札	1,190件
	立看板	613件
	合計	15,252件
17 年度	はり紙	13,100件
	はり札	738件
	立看板	548件
	広告旗	20件
	合計	14,406件

※平成17年度は、2月末現在

### 都市計画課では、

街の景観を保全するため、違反広告物(看板等)パトロール、違法なはり紙などの簡易除却活動を行っています。

■発行:鈴鹿市都市整備部都市計画課

〒513-8071 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL:059-382-9024 FAX:059-384-3938

E-mail:toshikekaku@city.suzuka.mie.jp

<http://www.city.suzuka.mie.jp/gyosei/plan/keikan/index.html>